

## 第3学年 体育(保健領域)「かけがえのない健康」

### 本單元における学習者用端末の利活用

○手だて

・学習者用端末を用いて、自分の健康状態をテープ図で表して全体で共有することにより、友達の健康状態も知ることができる。そして、人によって健康の捉え方が違うことに気付くことができる。

⇒「〇〇さんは元気だな。」「〇〇さんは、今日は元気ないな。」→個別最適な学び、協働的な学び

・ジャムボードを使って意見を出し合うことにより、一人で考えるよりも、たくさんの情報を集めることができ、活発な話し合いが可能になる。→協働的な学び

○使用したアプリやコンテンツ

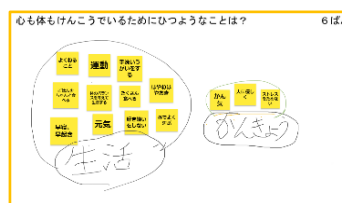


### 本時の展開

【ねらい:健康とは、心と体がよい状態であること、生活の仕方と身の回りの環境が関わっていることを理解する。】

	分	主な学習活動
導入	7	1 自分の健康状態について考える。 ・健康観察をする。(オクリンクでテープ図を用いて表す)
展開	30	<p>「健康は、何と関係しているのだろうか。」</p> <p>2 健康とはどのようなことかを考え、発表する。</p> <p>3 養護教諭の話聞き、健康とは、心と体の調子がよい状態であることを理解する。</p> <p>4 健康でいるためには、どのようなことが必要かを考え、ジャムボードに記入する。 ・「毎日の生活の仕方」と「身の回りの環境」に分類する。</p>
まとめ	8	5 今日の学習を通して、分かったこと・考えたことを書く。 ・自分のこれからの実生活と結び付けて考えられるようにする。

ジャムボードの付箋機能を活用して、班で考えをたくさん出し合う。後で出し合った付箋を分類する。



### 成果と課題

- ・オクリンクを活用し、友達の健康状態が一目で分かるようにすることで、人によって健康の捉え方が違うことに気づき、本時のめあてに繋げることができた。
- ・ジャムボードを活用して、班で意見を出し合いながらまとめたことで、普段自分の思いや考えが表現できない児童も、積極的に発言していた。
- ・ジャムボードの使い方に慣れていない児童もいたので、作業に時間がかかり、意見がうまくまとめられない班もあった。学習者用端末を使うことが目的とならないよう、効果的な活用方法は、教師が学習目標や内容を十分に考慮して取り組むようにする必要がある。